



# 防コミの歩き方



## 区民1000人が集う「東灘市民放水大会」

1月29日、東灘区民の憩いの場である住吉川に区民が一堂に集い、大震災の犠牲者に追悼の意を表すとともに、経験と教訓を継承することを目的に「東灘市民放水大会」がおこなわれました。

### 事前準備

東灘区の防災福祉コミュニティ13団体を中心に、実行委員会を立ち上げ、1年を通して計画が練りあげられました。

実施場所となる河川敷は、事前に整備する必要があるため、大会前日、防災福祉コミュニティと消防団員が協力して、土嚢を作成するなど会場の整備をおこない、当日は、式典の準備や震災パネルの展示、来場者の会場誘導などが手分けしておこなわれました。



### 大会の内容

第1部は式典、第2部は訓練の2部構成で、訓練内容は、東灘消防団による小型動力ポンプ操法の披露、本山南中学校吹奏楽部による演奏、そして、約30台の小型動力ポンプを使用しての斉放水がおこなわれました。最後に、東灘区連合婦人会及びコープこうべ住吉委員会による炊き出し

訓練がおこなわれ、1,000人を超える参加者に対して円滑に配食して下さる姿は、震災時の炊き出しさながらでした。



### 多岐にわたる参加団体

地域団体や事業所など、毎年多くの団体が参加しています。ボーイスカウトやガールスカウト、野球チームなど、子どもの参加も多く、式典ではプラカードを持って各団体を誘導したり、斉放水に参加するなど大活躍でした。

子どもから大人まで幅広い世代が斉に放水する風景は圧巻で、力強さと美しさを見る人に届けてくれます。区民の団結力が形になる年に1度の素晴らしい行事です。

(東灘消防署 田中由紀)

